

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイふるさと めぶきの家				公表日	2026年 1月 19日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	日々を振り返り報告を密に行い、共有しながら次回へとつなげていくようにしている。	ミーティングの機会はあるが業務や支援の内容について意見を交わす場面は少ない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者の方からの意向に沿いながら安心して利用していただけるよう配慮している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	職員から意見があった時にはその内容について取り組むよう心掛けている。	集めた意見をそのままにせずミーティングで共有し改善につなげていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		研修案内を常時閲覧できる環境にあり、研修をつけやすい環境にしている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2		・支援計画の内容について共有されていないので職員全員が理解しているわけではない。 ・ミーティングを通して議論を重ね共通認識を形成していきたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	毎月の報告書を通して利用している各児童を知る機会を作っている。	一度だけでなく継続的に情報を収集し、変化を捉えるようにしていきたい。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	誰がいつまでに何をするのかを明確にし、責任の所在をはっきりしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	その日行われる支援について誰が何を担当し、どのような流れで進めるかを明確にする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	1	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	地域の公園や図書館などに出掛けた際に、関わる機会を持つようになっている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		保護者の集いを開催し、情報交換や悩み共有の場を提供し、子育ての負担軽減と支え合いを促している。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		誰もが見える場所に情報を掲示して共有出来るよう早急に対応する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイふるさと めぶきの家		
○保護者評価実施期間	令和7年12月20日	～	令和8年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日	～	令和8年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備の面において「活動等のスペースが十分に確保されている」「職員の配置数は適切である」「生活空間はこどもに分かりやすく構造化された環境になっている」「生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境、こども達の活動に合わせた空間となっている」に高い評価をしていただきました。	療育室については必要に応じてカーテンやパーティションなどを用いることでそれぞれのこども達に必要な空間を区切って提供できるように配慮しています。また毎日療育室の清掃を必ず行い、清潔に過ごして頂けるように心掛けています。 おもちゃや物の片付けの場所についても絵カードなどを用いて視覚的に場所を伝え決まった場所に物を片付けてもらうことでこども達にも自分達が過ごす場所を綺麗に保つ意識を持ってもらえるよう支援を行っています。	それぞれの特性やその日のご様子に合わせた1人ひとりにとって過ごしやすい環境設定を可能な限り行い、より安心して過ごして頂けるよう心掛けて参ります。
2	保護者への説明等の面において「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解できている」「事業所の職員から共感的に支援をされている」に高い評価をしていただきました。	ご利用時には送迎時の保護者様との情報共有、直接お話が出来ない場合には連絡帳への記載、緊急を要する場合など必要に応じて公式LINEや電話を用いてお子様のご様子について保護者様に迅速にお伝えし、支援の内容を共有することを心掛けています。また保護者様とのやりとりの中で困りごとや出来るようになったこと、これからやってみたいことなどについてもお聞きし、日々の支援に取り入れることが出来るように努めています。	引き続き、丁寧なご家庭との情報共有ややりとりを通じてご家庭やご本人のニーズを踏まえた支援に努めて参ります。
3	満足度について「安心感をもって通所しているか」「通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足しているか」という面で高い評価をしていただきました。	お子様のやってみたいこと、事業所に来て楽しみにしていることなどご本人の楽しみや達成感を大切にしながら日々支援を行い、その中で周りのお友達との関わり方や、困ったときの対処法などを身に付けていけるような支援を行っています。	事業所に通ってくださるお子様自身の意思決定を尊重しながら何度も挑戦したり、出来たことからさらに次のステップへと進める支援を大切に今後も丁寧な関わりを心掛けて参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	適切な支援の提供の面で「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもの活動する機会がありますか」について「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」の回答が全体の半分以上という結果が出ていました。	現状、放課後児童クラブなど他事業所との交流の予定はありません。 平日の学校が終わってからの限られた時間の中で地域のこども達との交流を実現するのは難しい状況であることが要因と考えられます。	地域のこども達との交流をもてる場所として祝日や土曜日には図書館に出掛けて本を読む活動を取り入れています。事業所の空間ではない場所で他のこども達と過ごす時間の中で社会のルールやマナーについて学んだり、本を通して交流を深める機会になればと考えています。
2	事業所でのマニュアルの策定、保護者への周知や、訓練等の実施について「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」という回答がありました。	避難訓練などの実施や緊急時の事業所の対応について保護者様に情報が行き渡っていないことが分かりました。訓練に関しましては介護事業所と合同で行っていますが、参加する人数が少なく日程を事前に周知していないため訓練があることを知る機会が少なかったと感じています。	避難訓練などの実施につきましては、前年度に引き続き通信や事業所の公式Xなどを通して積極的に発信し、より多くのご家庭へと周知できるよう心掛けて参ります。
3	「父母の会の活動の支援や保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。またきょうだい向けのイベントの開催により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。」について「どちらともいえない」「わからない」が全体の半分程ありました。	今年度は保護者会の開催には至らず保護者同士の交流の場を設けることが難しい状況にありました。中学高校への進学など大切な時期を迎えるご家庭もある中こういった機会を通して地域の学校についての情報共有を行ったり、困りごとや悩みごとについて相談出来る会があれば良かったかと思えます。	保護者の方との日々のやりとりの中でこういった機会の必要性について感じることもあるため、開催する際には保護者様にも職員から直接声掛けを行ったりご兄弟などがいらっしゃる場合にも安心して会に参加していただけるよう配慮するなど開催の方法についても職員同士で相談しながら、進めていきたいと感じています。